



## Bangladeshの片隅

Vol.02

# タクシーに代わるライドシェア

文 田口 茂樹

text by Shigeki Taguchi



いま世界の車の稼働率は5%に満たないと一部で言われているそうです。動かず遊んでいる車両の空いている時間をその車両が乗客を乗せて副業をするスタイルはごく自然な流れのようにも思います。

自動運転が広まれば、空いている時間を車両が自動的に乗客を送迎する、

副業としても新たな雇用を生み、さらにマイカーの合理的使用や無駄を省く事業が、押捺され、なかなか広まらないとはどういった理由なのでしょうか。「白タク」だと言う前に豊かな生活とは何かを考えるべきではないかと思えます。

温暖な気候が大半の東南アジア、南アジアで、たまの雨ならカッパをきて、深刻な渋滞の合間を縫ってスイスイと

そういった車両を、アメリカの某メーカーが開発しているとも聞きます。

バン格拉デシユでも都心部の渋滞は深刻でバイクタクシーはとも流行っているようです。Pathao (<https://pathao.com/>) などはこちらもいろんなところから資金が入り、様々なライバルが出てくるでしょう。自分も一つブランドを作ろうかなと、ふと思ったりもしています。



インドネシアのGOJEK

駆け抜ける若者が、次世代の祖国を担うかと思うと、その片棒の一つでも担ぎたくなるものです。

ライドシェアだけでなく農業もイスラエルやオランダではれっきとした収益事業であり、オランダの国土は日本の約9分の1でありながら農産物輸出力は世界第2位を誇るのだとか。LEDでの栽培、ITの活用など旧来の農業からの脱却がそういった変化を成し遂げた原動力となったのでしょうか。

日本の農業もこの辺りに変革のヒントがありそうです。

### Profile

1975年 大阪生まれ  
 2000年3月 関西大学法学部卒  
 同年4月 株式会社ゴールドクレスト入社  
 2003年4月 株式会社エス・エム・エス 創業  
 2008年3月 同社 東証マザーズ上場  
 2011年12月東証一部上場  
 2011年9月 同社 引退  
 2014年 バン格拉デシユにて株式会社Japan Taguchi construction 設立  
 現在に至る。